学校番号	1013

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2	年次	2年
使用教科書	「高校生物基礎　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物の基本的なしくみを理解する。
自身を含めた身の周りの生物との関係を考える。
実験を通して理解を深めるとともに、科学的な探求方法を知る。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を習得する。目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に着ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	ノート･プリントの記述 授業・実験中の態度 授業・実験中の発言 課題への取組み 出席状況	ノート･プリントの記述 授業・実験中の発言 課題の内容 定期考査の結果	実験中の態度 実験結果とその記録 考察	ノート・プリントの記述 小テスト、定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				.単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴・遺伝子	生物の多様性と共通性	○	○			a.生物の多様性と共通性について、理解しようとする。 b.生物とは何か、どのような点が共通しているかを考えられる。 c. 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 生物の組織から DNA を抽出する技能を習得している。 d. 生命活動に必要なエネルギーを．呼吸や光合成から得ていることを理解している。	学習状況 探究活動 ノート プリント 実験 定期考査
		細胞とエネルギー			○	○		
		遺伝情報とDNA			○			
2学期	生物の体内環境とその維持	体内環境	○				a. 外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする d. 腎臓の働きや、肝臓の働きを理解している。 ホルモンの分泌により血糖量が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患についての知識を得ている。 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。	学習状況 探究活動 ノート プリント 実験 定期考査
		体内環境維持のしくみ				○		
		免疫				○		
3学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移				○	a. 陸上には様々な植生がみられ、それらは不変ではなく、長期的には移り変わっていくことを理解しようとする。 b. 生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。 d. 炭素や窒素の物質循環のしくみを理解している。	学習状況 探究活動 ノート プリント 実験 定期考査
		気候とバイオーム	○					
		生態系と物質循環		○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。